

2024年度 第3四半期 クリモトグループ決算説明資料

Challenge to change.

KURIMOTO

目次

1. 2024年度 第3四半期実績
2. 2024年度 通期業績予想
3. トピックス

参考資料

1. 2024年度 第3四半期実績

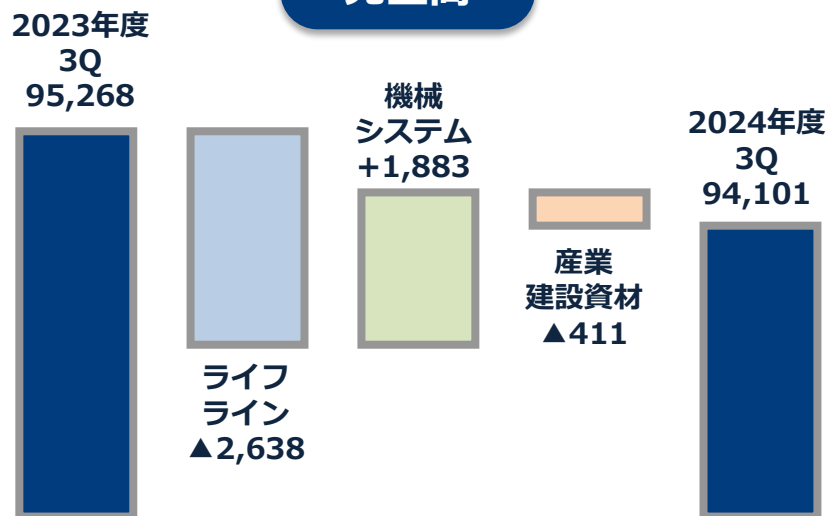
1 - 1 決算概要

<連結>

(単位：百万円)

	2023年度 3Q 実績 (A)		2024年度 3Q 実績 (B)		前年比 (B-A)	2024年度 期末予想 (2024.5.14公表) (2024.11.1修正)	
売上高	95,268	-	94,101	-	▲1,166	124,000	-
営業利益 (率)	6,900	(7.2%)	5,986	(6.3%)	▲913	7,000	(5.6%)
経常利益 (率)	7,030	(7.4%)	6,211	(6.6%)	▲818	7,200	(5.8%)
四半期純利益 (率)	4,988	(5.2%)	5,162	(5.4%)	173	5,500	(4.4%)

売上高



営業利益

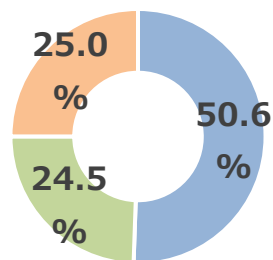


1 - 2 セグメント別業績

(単位：百万円)
前年比
(B-A)

		2023年度 3Q実績 (A)	2024年度 3Q実績 (B)	
ライフライン	売上高	50,212	47,574	▲2,638
	営業利益	4,210	3,451	▲759
	(率)	(8.4%)	(7.2%)	(▲1.2pts)
機械システム	売上高	21,128	23,011	1,883
	営業利益	1,406	1,724	317
	(率)	(6.7%)	(7.4%)	(0.7pts)
産業建設資材	売上高	23,927	23,516	▲411
	営業利益	1,775	962	▲813
	(率)	(7.4%)	(4.0%)	(▲3.4pts)

売上高割合



※営業利益合計額は調整額を含んでいるため、セグメント利益の合算値とは合致しません。

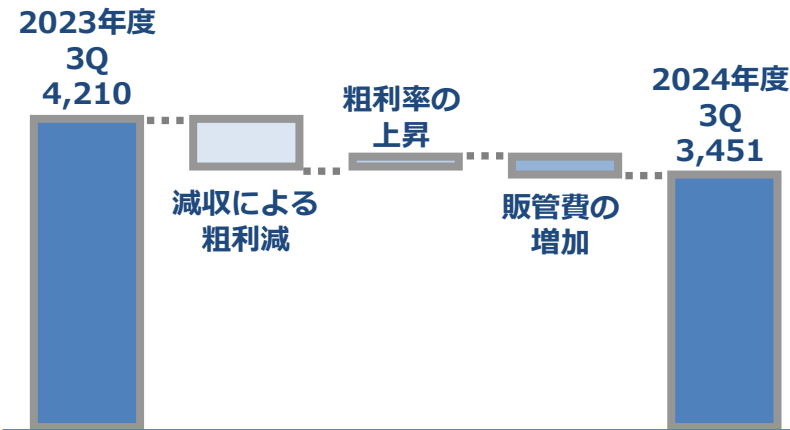
1 - 3 事業セグメント別概況

ライフラインセグメント

(単位：百万円)

	2023年度 3Q 実績 (A)	2024年度 3Q 実績 (B)	前年比 (B-A)	2024年度通期 直近予想値 (2025.2.7時点)
売上高	50,212	47,574	▲2,638	61,500
営業利益	4,210	3,451	▲759	4,100
(率)	(8.4%)	(7.2%)	(▲1.2pts)	(6.6%)

営業利益増減内訳 (連結)



事業セグメント別売上高・営業利益

売上高

バルブ部門にて電力・鉄鋼関連向け製品や海外向けの売上が好調に推移するも、グループ会社の減収影響等により前年度比2,638百万円の減収

営業利益

粗利率は上昇するも、減収影響や販売管理費の増加等により前年度比759百万円の減益

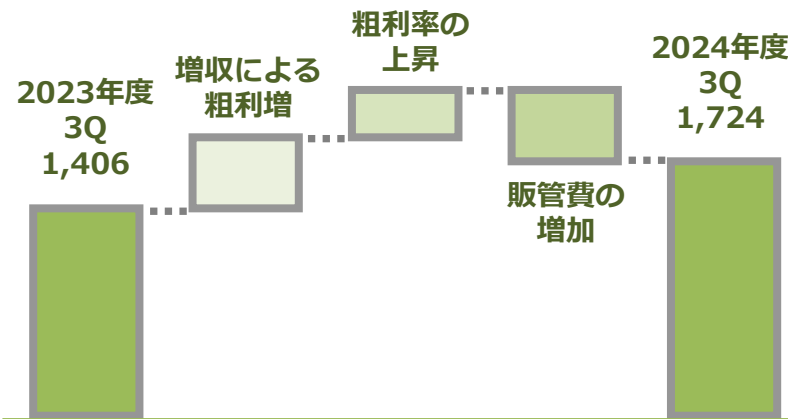
1 - 4 事業セグメント別概況

機械システムセグメント

(単位：百万円)

	2023年度 3Q 実績 (A)	2024年度 3Q 実績 (B)	前年比 (B-A)	2024年度通期 直近予想値 (2025.2.7時点)
売上高	21,128	23,011	1,883	31,000
営業利益	1,406	1,724	317	1,800
(率)	(6.7%)	(7.4%)	(0.7pts)	(5.8%)

営業利益増減内訳 (連結)



事業セグメント別売上高・営業利益

売上高

機械部門においてプレス機器販売、プラント案件等が好調であったことに加え、索形材部門でM&Aを実施した影響等により前年比1,883百万円の増収

営業利益

販売管理費の増加があったものの、増収影響や粗利率の改善等により前年同期比317百万円の増益

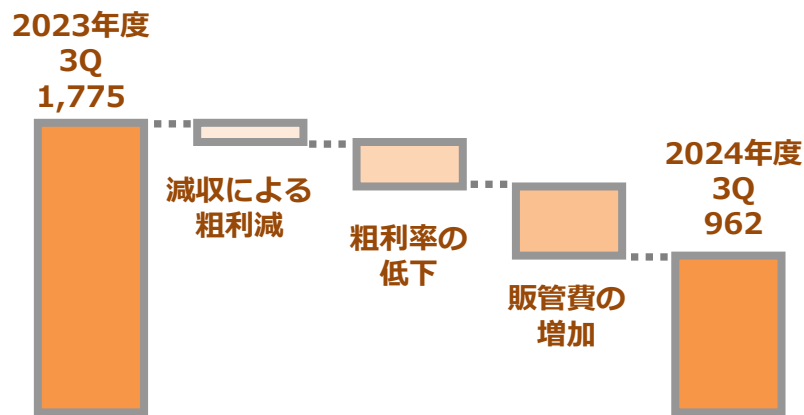
1 - 5 事業セグメント別概況

産業建設資材セグメント

(単位：百万円)

	2023年度 3Q 実績 (A)	2024年度 3Q 実績 (B)	前年比 (B-A)	2024年度通期 直近予想値 (2025.2.7時点)
売上高	23,927	23,516	▲411	31,500
営業利益	1,775	962	▲813	1,800
(率)	(7.4%)	(4.0%)	(▲3.4pts)	(5.7%)

営業利益増減内訳 (連結)



事業セグメント別売上高・営業利益

売上高

化成品部門にて出荷が順調に進んだ一方で、建材部門のグループ会社において出荷延期が発生した影響等により前年比411百万円の減収

営業利益

工事案件にて追加工事が発生したこと等により前年比813百万円の減益

2. 2024年度 通期業績予想

2 - 1 2024年度 通期業績予想

<連結>

(単位：百万円)

	2023年度 通期実績		2024年度 通期予想		前年比 (B - A)
	(A)		(B) (2024.5.14公表) (2024.11.1修正)		
売上高	125,925	-	124,000	-	▲1,925
営業利益 (率)	7,460	(5.9%)	7,000	(5.6%)	▲460
経常利益 (率)	7,816	(4.5%)	7,200	(5.8%)	▲616
当期純利益 (率)	5,470	(3.3%)	5,500	(4.4%)	30
ROE	-	(7.1%)	-	(7.0%以上)	-

前年度は売上高の前倒しや利益率の高い製品が好調に推移したこともあり、今年度は減収および営業利益、経常利益の減益を見込むも、特別利益の計上等により当期純利益は増益を見込む。

2-2 セグメント別業績

		2023年度 実績 (A)	2024年度直近予想 (B)	(単位：百万円) 前年比 (B-A)
ライフライン	売上高	64,439	61,500	▲2,939
	営業利益	4,494	4,100	▲394
	(率)	(7.0%)	(6.6%)	(▲0.4pts)
機械システム	売上高	29,144	31,000	1,856
	営業利益	1,491	1,800	309
	(率)	(5.1%)	(5.8%)	(0.7pts)
産業建設資材	売上高	32,340	31,500	▲840
	営業利益	2,255	1,800	▲455
	(率)	(7.0%)	(5.7%)	(▲1.3pts)

ライフラインセグメント

潜在需要はあるものの、物価上昇による市場の購買力低下により減収減益の見込み

機械システムセグメント

原材料・エネルギー・輸送コストの高騰があるも、投資の手控えからの回復が期待できることやM&A等により増収増益を見込む

産業建設資材セグメント

建設投資の戻りの遅れや、原材料コストなどの高騰により減収減益の見込み

※営業利益合計額は調整額を含んでいるため、セグメント利益の合算値とは合致しません。

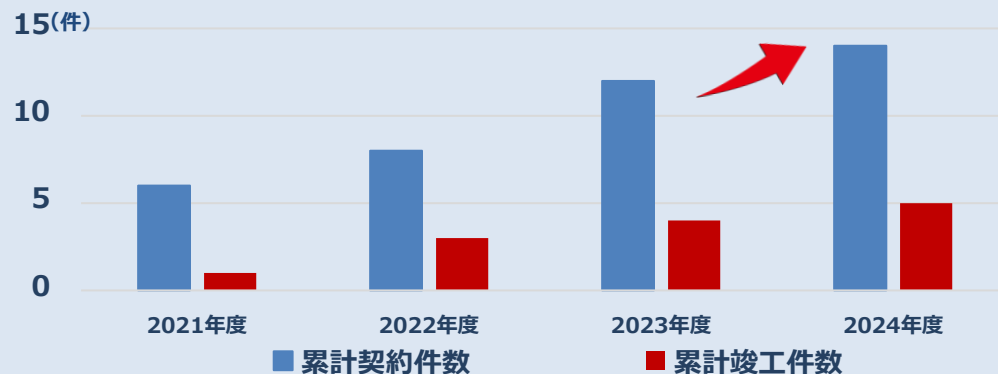
3. トピックス

3 - 1 水道管路DB方式

ライフラインセグメント

2024年度の受注実績 **2** 件

- ・ 滋賀県 近江八幡市
- ・ 奈良県 広陵町

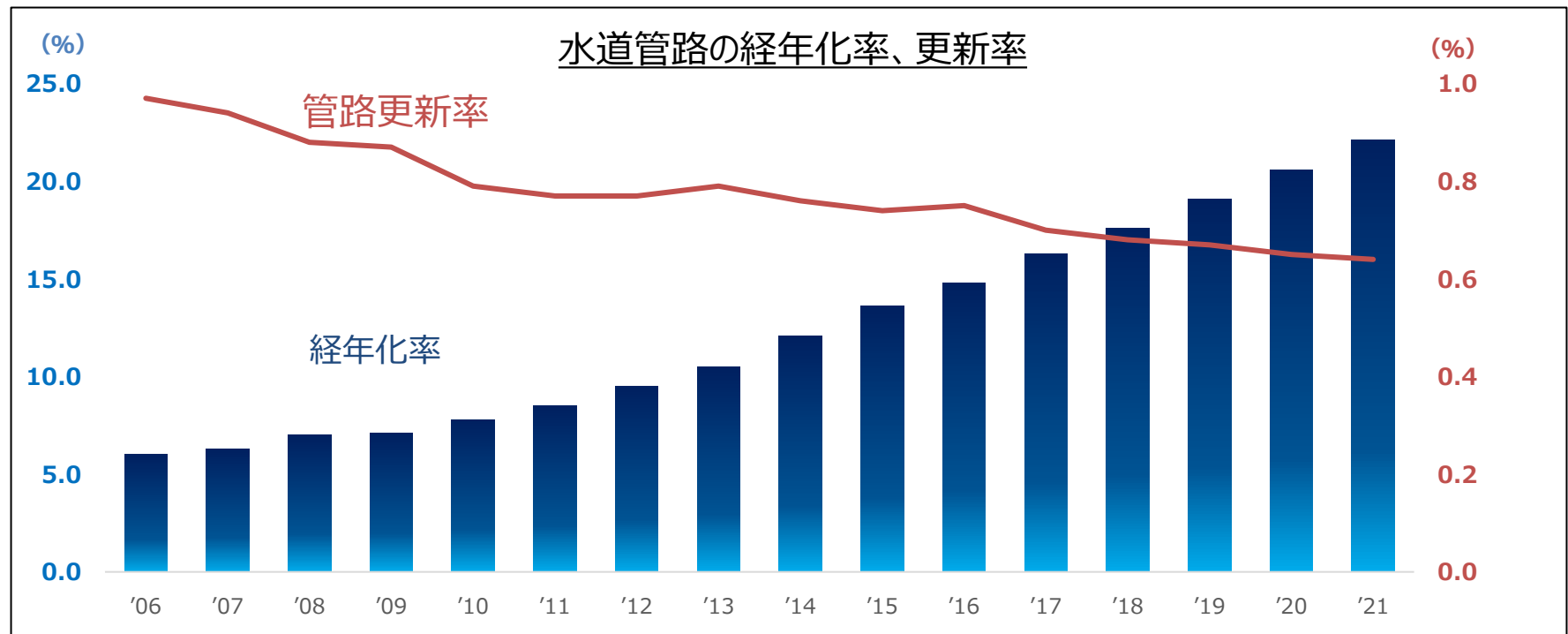


● 水道管路DB（設計・施工一括発注）方式 施工中一覧

ご発注者	受注	竣工	事業名称	契約者	事業規模
奈良県 広陵町	2021年度	(予定) 2024年度	広陵町配水本管布設 耐震設計施工業務	村本・栗本・潮技術コンサル 共同企業体	5.4億円
奈良県	2022年度	(予定) 2027年度	連絡管第1工区整備事業	栗本・村本・潮技術コンサル 特定共同企業体	—
兵庫県 播磨町	2022年度	(予定) 2026年度	東本荘・新島地区基幹管路 布設替工事	栗本・潮技術コンサル 共同企業体	4.4億円
北海道 千歳市	2023年度	(予定) 2025年度	(5) 美々地区外水道整備事業	栗本・舞鶴・神栄 日水コン特定共同企業体	13.8億円
北海道 留萌市	2023年度	(予定) 2024年度	新信砂浄水場導水管更新事業	クワトロ・イノベーション 日水コン特定建設工事共同企業体	1.1億円
青森県津軽広域 水道企業団	2023年度	(予定) 2030年度	導水管路耐震化（二重化）事業	栗本・丸勘建設 日本水工設計特定共同企業体	48.0億円
大阪府 泉佐野市	2023年度	(予定) 2024年度	泉佐野市日根野浄水場他 管路更新業務（その2）	栗本鐵工所・泉佐野市水道組合 特定建設工事共同企業体	0.9億円
滋賀県 近江八幡市	2024年度	(予定) 2027年度	近江八幡市上水道 重要管路更新事業（その1）	栗本・日吉 極東技工コンサル共同企業体	10.6億円
奈良県 広陵町	2024年度	(予定) 2027年度	広陵町配水本管布設 替耐震設計施工業務	栗本・潮技術コンサル 共同企業体	8.8億円

3 - 2 国内水道事業の市場規模

- 国内水道管路の総延長は約 **74** 万km（約地球18周分）
- そのうちダクタイル鉄管は約 **40** 万km（54%）
- 経年劣化率は上昇する一方で、更新率は年々低下（**1** %未満）



参考資料

参考資料 1 会社概要 (2024年3月末時点)

所在地：
大阪府大阪市西区北堀江1丁目12番19号

創立：
1909年2月2日（明治42年）

設立：
1934年5月10日（昭和9年）

主要事業領域：
社会インフラ事業、産業設備事業

代表者：
代表取締役社長 菊本 一高

資本金：
311億円（2024年3月末時点）

従業員数：
連結 2,121名（2024年3月末時点）
単体 1,316名（2024年3月末時点）

グループ企業：
国内外22社で構成

参考資料 2 会社概要 (2024年3月末時点)

事業所：

○工場・物流拠点 (計 13 か所)

大阪府内 4 か所

滋賀県、茨城県など

○国内営業拠点 (8 か所)

大阪、東京、札幌、仙台、

名古屋、広島、福岡、沖縄

○海外拠点 (2 か所)

ヨーロッパ事務所 (ドイツ)、

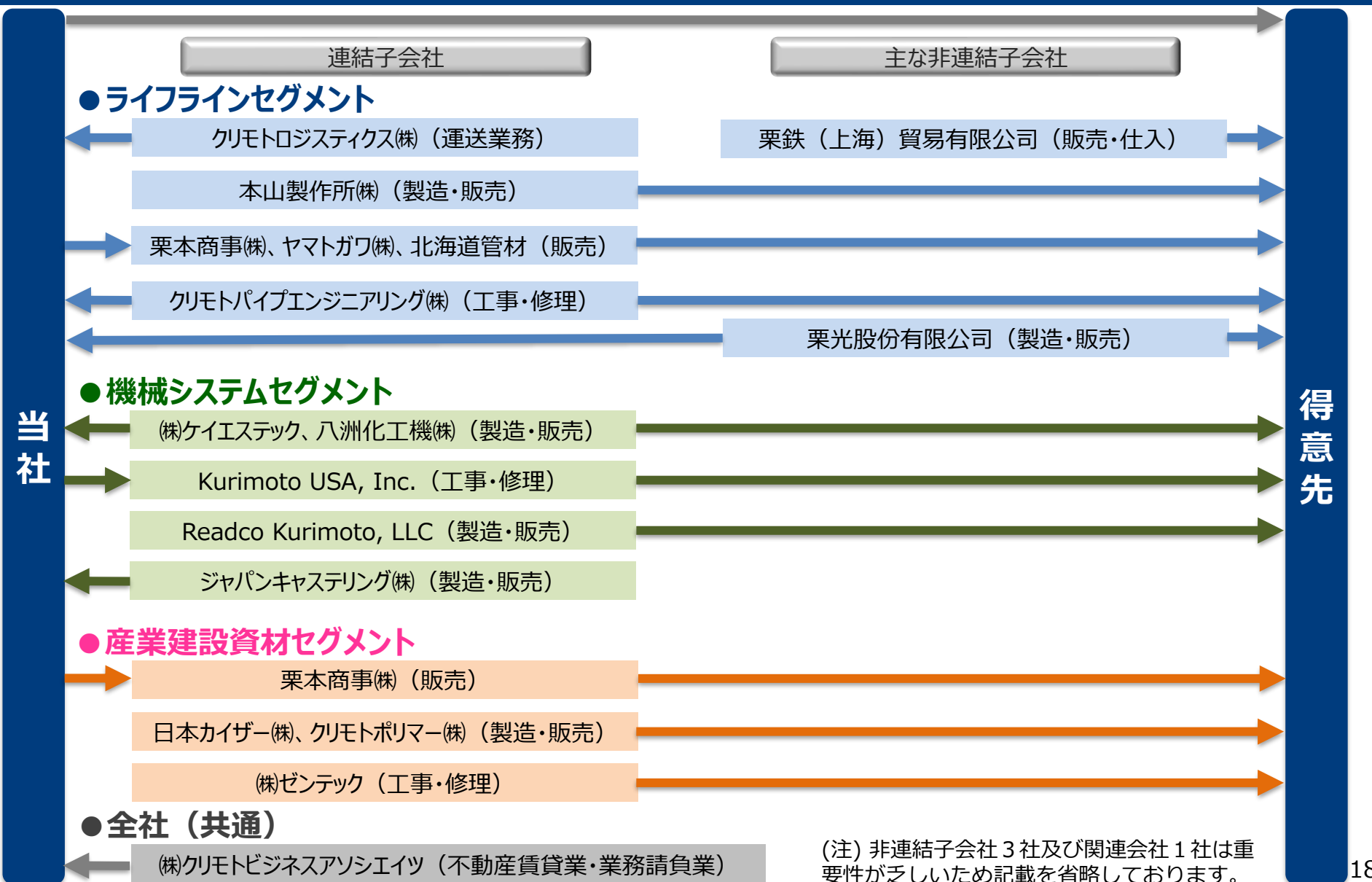
ジャカルタ事務所 (インドネシア)



関係会社：

栗本商事(株)、ヤマトガワ(株)、(株)本山製作所、(株)ケイエステック、
 ジャパンキャストリング(株)、Readco Kurimoto、Kurimoto USA<米国>、
 栗鉄 (上海) 貿易有限公司<中国>など 計22社

参考資料 3 関係会社 (2024年3月末時点)



参考資料 4 経営理念/ありたい姿

経営理念

私たちは、全てのステークホルダーの期待と信頼に応え、常に最適なシステムを提供し、『夢ある未来』を創造します。

～社会インフラ・産業インフラへの最適なシステムの提供～

ありたい姿

「売り手よし」「買い手よし」「世間よし」の「三方よし」に、「未来もよし」を加えた「四方よし」の精神で、将来にわたって社会へ貢献できる企業グループを目指す

参考資料5 事業ドメイン

社会 インフラ

上下水道、道路、通信、交通など
人・生活において基盤となる施設



メーカーの生産活動に必要な
機械、プラントなどの製造設備



産業設備

参考資料 6 事業部門の構成と主な製品①

事業セグメント	主な事業ドメイン	事業部	主な製品	主な需要先
ライフラインセグメント		パイプシステム	ダクタイル鉄管類	水道事業者
		バルブシステム	水道用バルブ、産業バルブ	水道事業者、製鉄・電力等各種プラント、ポンプメーカー
機械システムセグメント		機械システム	鍛造プレス	自動車関連メーカー
			粉体処理機	カーボン、エンブラ、二次電池関連メーカー 他
		プラントエンジニアリング	プラントエンジニアリング企業	
		素形材エンジニアリング	耐磨耗鋳物、破碎機 鉄鋼、セメント、電力、環境、砕石関連企業	
産業建設資材セグメント		建材	建築資材	管材商社、空調設備業者、ゼネコン等
		化成品	FRP(M)製品	国・地方公共団体、電力会社、ゼネコン、フィルム関連メーカー

参考資料 7 事業部門の構成と主な製品②

◆ 社会インフラと産業設備事業の構成、官需/民需のバランスが良く、好不況の波に強い事業基盤を持つ

社会インフラ = 安定性

上下水道、道路、通信、交通など
人・生活において基盤となる施設。

売上比率
約50%

売上比率
約50%

産業設備 = 成長性

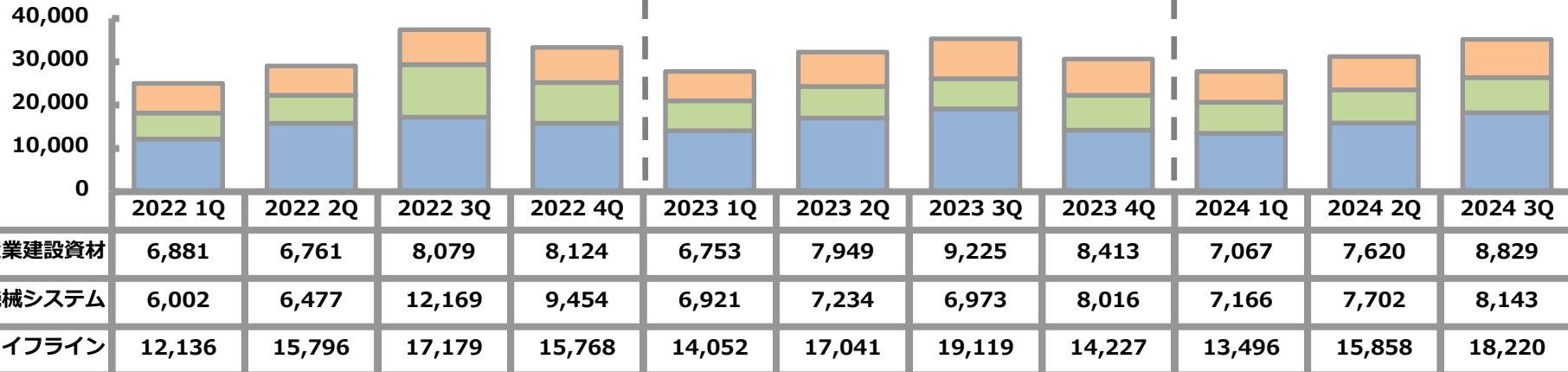
メーカーの生産活動に必要な
機械、プラントなどの製造設備。

ライフラインセグメント		機械システムセグメント		産業建設資材セグメント	
パイプシステム	バルブシステム	機械システム	素形材 E N G	建材	化成品
水道用ダクタイル鉄管	水道用・産業用バルブ	鍛造プレス、混練機	耐熱・耐摩耗鋳物 破砕機	空調用ダクト等の 建築資材	検査路等の FRP(M)製品
 	 	 	 	 	 

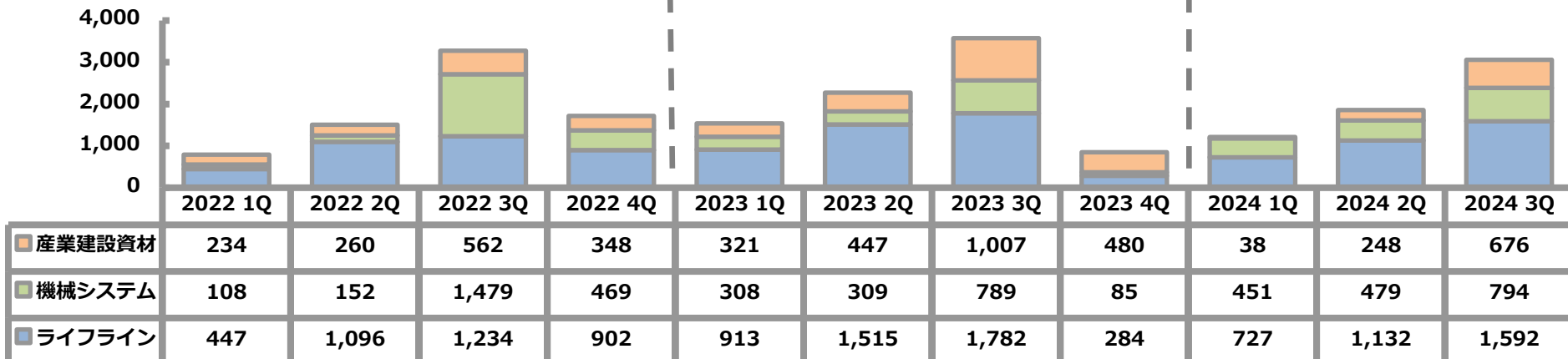
参考資料 8 セグメント別 四半期業績推移

(単位：百万円)

売上高



営業利益

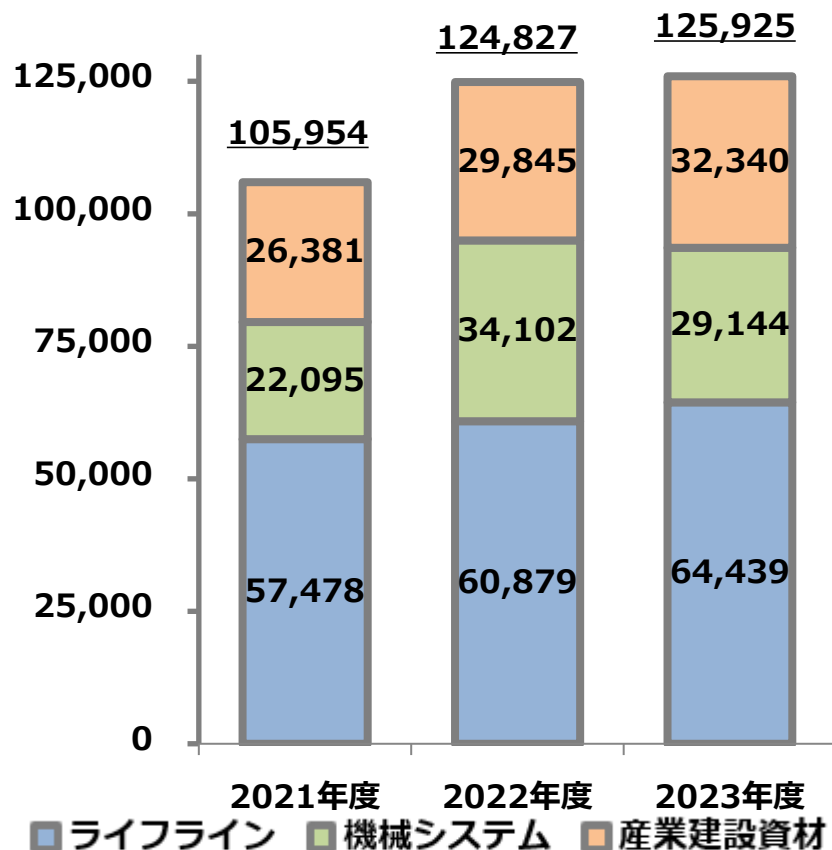


※営業利益合計額は調整額を含んでいるため、セグメント利益の合算値とは合致しません。

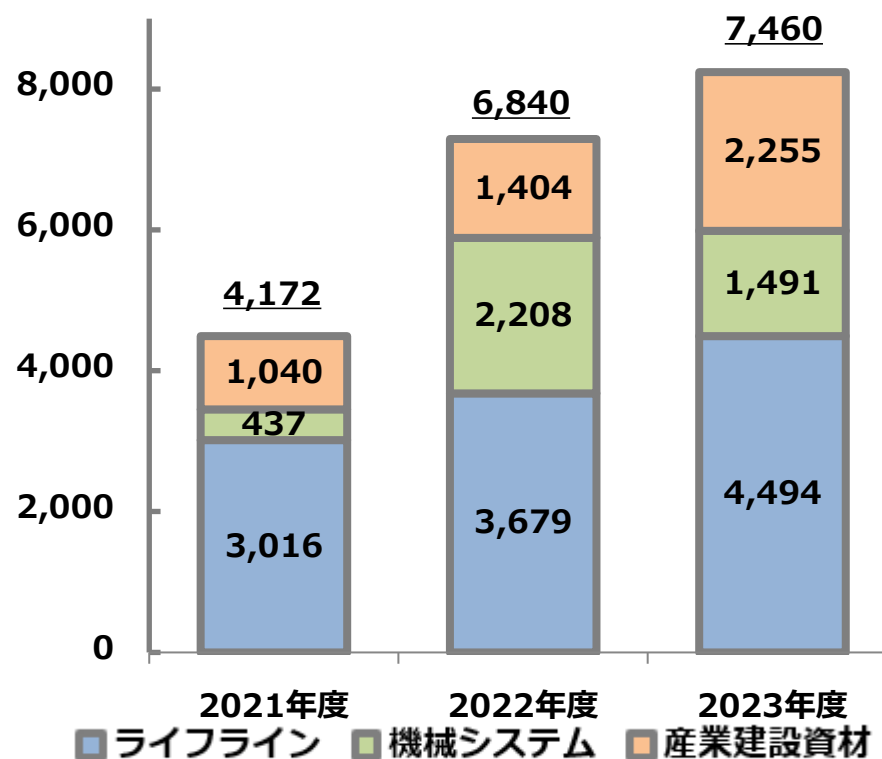
参考資料 9 セグメント別 年度業績推移

(単位：百万円)

売上高



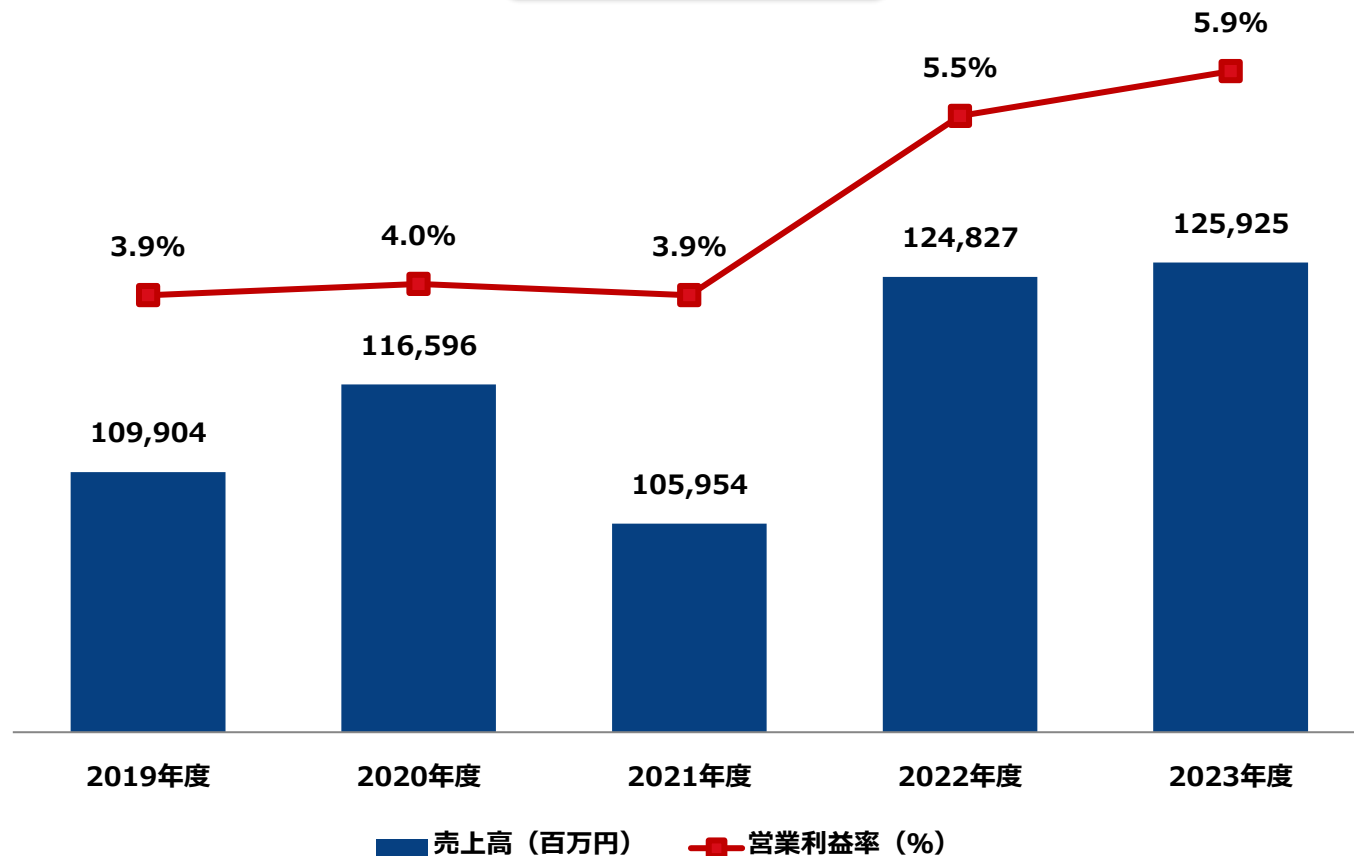
営業利益



※営業利益合計額は調整額を含んでいるため、セグメント利益の合算値とは合致しません。

参考資料 10 売上・営業利益率推移（連結）

連結



資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

問い合わせ先
株式会社栗本鐵工所
総合企画室 IR・SR部
TEL:06-6538-7719
E-mail : ir@kurimoto.co.jp
HPアドレス : <https://www.kurimoto.co.jp>

KURIMOTO